

取組の成果と今後の方向性

◎総評
高幡地域では、地域の大部分を占める森林資源を活かした林業分野をはじめ、農林水産業、6次産業化への取り組みなど、48の地域アクションプランの推進に取り組んでいる。津野町のアンテナショップ「満天の星」は、外商ビジネスの拠点を高知市に設け、町内の野菜やお茶、「満天の星大福」(ほうじ茶大福)をはじめとするスイーツなど好調な販売を続けており、多くの雇用の創出につながっている。

また、四万十町のクラインガルテン(滞在型市民農園)は、開設以来高い稼働率を継続しており、町内への移住者の増加にもつながっている。

観光分野では、平成28年4月から開催される「2016奥四万十博」に向け、5市町による奥四万十博推進協議会の設立や、各市町における商工団体や住民の参画による組織の立ち上げなど、受入準備が進められている。

その他、四万十の栗や葉にんにくといった地域の素材を活用した加工品づくりなど、新たな取り組みも生まれてきている。

※地域アクションプランによる雇用の創出 (H24～H26) 60人

◎各分野の取組の成果と今後の方向性

- ・農業分野
まとまりのある産地づくりに向けた学び教えあう場の設定など栽培技術の向上により収量及び品質が向上した。中でも、ミョウガは、本県が全国トップの生産量を誇っており、更に、JA土佐くろしおをはじめとする高幡地域で県内の約8割を占めている。今後も、栽培マニュアルの作成による栽培基本技術の定着化、学び教えあう場の設定による栽培技術の向上を目指す。
- ・林業分野
「四万十ヒノキ」ブランドの製品販売は、消費税増税の影響がある中で、公共事業での需要の後押しもあり好調な状況を維持しているが、FSC認証材の製品販売は、苦戦している。一方、林地残材等を活用した木質ペレットの製造は、機器の導入等により生産量が大幅に増加している。今後も、ロゴマークを活用した四万十ヒノキの認知度の向上や木質バイオマスの利活用による森林資源の有効利用の拡大に取り組む。
- ・水産業分野
処理能力及衛生管理を強化した水産物加工工場が須崎市(カンパチ、マダイ等)、中土佐町(カツオ、メジカ等)に整備され、高鮮度なブランド魚の加工・販売体制が整った。今後は、県外を中心に販路拡大に努め、他産地の販売戦略に左右されにくい販売力を構築していく。
- ・観光分野
H25年にリニューアルした海洋堂ホビー館四万十は、企画展やイベントを定期的に開催するなど、リピーターを含めた来館者の確保に向けた工夫を重ねており、長期雇用にもつながっている。本年4月に打井川バイパスが開通し、大型観光バスの乗り入れが可能となったことから、観光客の受入増が見込まれる。また、「2016奥四万十博」の開催に向け、旅行会社へのセールスや体験メニューの磨き上げ、新たな体験プログラムの造成などを進めている。

主要な指標及び目標

項目	出発点 (2期計画策定)	目標 (H27)	直近値 (H26)
主要農産物(ミョウガ)の販売額 (JA土佐くろしお)	H23: 52.9億円	H27: 60億円	H26: 58.6億円
主要農産物(ニラ)の販売額 (JA四万十)	H23: 8億円	H27: 10億円	H26: 8.4億円
四万十ヒノキブランドの製品販売高	H22: -	H27: 原木9,000㎡ 製品2.7億円	H26: 原木9,674㎡ 製品4億円
シイラの取扱量	H22: 26t	H27: 85t	H26: 66t
主要施設の宿泊者数 (管内主要9施設)	H24: 39,163人	H27: 40,000人	H26: 35,525人
ビジネス拠点組織の直販所等販売額 (津野町・四万十町)	H22: 427百万円	H27: 582百万円	H26: 573百万円

主な支援策の活用状況

- ・産業振興推進総合支援事業費補助金 15事業 164,774千円
- ・観光拠点等整備事業費補助金 15事業 84,470千円 (H24～26実績額)
- ・専門家の派遣(産業振興アドバイザー事業) 21件、延べ51回

● 四万十の栗再生プロジェクト 【四万十町】

四万十の栗 <四万十の栗再生プロジェクト推進協議会>

- | | |
|---|---|
| 取組の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・おちやくりカフェオープン(H26.4月) ・栗生産力向上のための技術指導の強化 ・マスコミ等への露出と外商活動 | 今後の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・生産者部会の組織強化 ・新商品の開発と販売促進 |
|---|---|

主な成果

- おちやくりカフェ実績
- ・売上高 33,320千円(H26)
- ・来店者数 10,897名(H26)



● 「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進 【栲原町、津野町】

原木シイタケ <JA津野山>

- | | |
|--|--|
| 取組の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共同ほだ場の整備(H23)による生産体制の強化 ・生産者組織(億産会)の設立と販売促進活動 | 今後の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・乾燥シイタケを使った料理の提案による販路拡大 ・加工品の開発 |
|--|--|

主な成果

- ・乾燥シイタケの販売量 3.6t(H22)→5.9t(H26)



● 津野町地産地消・外商販売戦略 【津野町】

<ふるさとセンター、津野町>

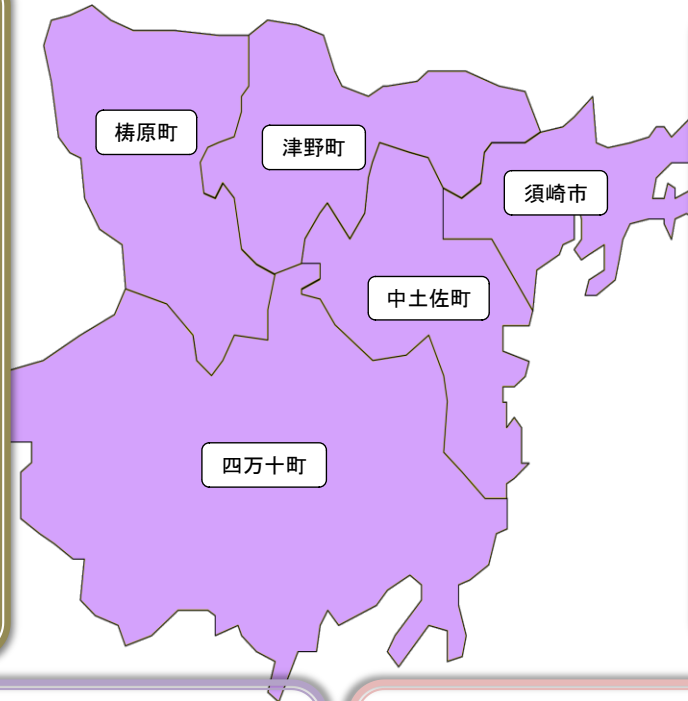
津野町アンテナショップ「満天の星」

取組の内容 <今後の方向性>

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・高知市内アンテナショップのオープン(H24.4月) ・新茶まつりなどイベント開催 ・新商品の開発 | <ul style="list-style-type: none"> ・特産品(つの茶、津野山牛)の認知度向上 ・定期的なイベント開催 |
|---|---|

主な成果

- ・「満天の星大福」が高知県地場産業大賞産業振興計画賞受賞(H24)
- ・雇用の創出 40人(うち長期40人)(H26)
- ・株満天の星 販売額 0円(H22)→189百万円(H26)
- ・津野町ふるさとセンター販売額 136百万円(H22)→153百万円(H26)



● 葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大 【須崎市】

葉にんにくのたれ <㈱アースエイド>

取組の内容 <今後の方向性>

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・製造設備の整備(H25) ・県内外での展示商談会等への出展 ・マスコミ、雑誌を活用した情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・常温で販売できる商品の開発 ・取引先の開拓 |
|--|---|

主な成果

- ・雇用の創出 6人(うち長期3人、短期3人)
- ・高知県地場産業大賞奨励賞 受賞(H26)



● 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進 【中土佐町】

ぴんぴ (スラリーアイス活用) <中土佐町>

取組の内容 <今後の方向性>

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・「ぴんぴ鯉」及び第2ブランド「上々」の販促活動(百貨店や各県人会等) ・水産加工施設の整備(H26) | <ul style="list-style-type: none"> ・商談会への参加等を通じた販路拡大 ・新商品の開発 |
|--|--|

主な成果

- ・「ぴんぴ鯉のたたきセット」の販売 202セット(H25)→216セット(H26)
- ・三越特招会、グルメ通販での取扱189セット



● 滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり 【四万十町】

クラインガルテン <四万十町、営農支援センター四万十(株)>

取組の内容 <今後の方向性>

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・施設内、町内イベント等での住民との交流促進 ・移住相談窓口やお試し滞在施設の運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住促進の仕組みづくり ・相談窓口体制と移住サポーターの活動の充実 |
|--|---|

主な成果

- ・施設稼働率 97.4%(H26)
- ・移住相談窓口への相談件数 134件(H25)→555件(H26)
- ・移住実績 9組18名(H24)→17組27名(H26)



● わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり 【四万十町】

海洋堂ホビー館 <四万十町、㈱海洋堂、㈱奇想天外>

取組の内容 <今後の方向性>

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・展示スペースの拡張整備(H24) ・県内外の小中学生に招待券配布 ・繁忙期における交通渋滞緩和対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホビー館を拠点とした滞在型観光の仕組みづくり ・団体客誘致のための営業活動 |
|--|---|

主な成果

- ・ホビー館来館者数(累計) 259,270人(H23.7～H27.3)
- ・地元住民が運営する「谷小屋」「かっぱ茶屋」等の活動の活性化

